



子ども達に読書の楽しさを伝える
図書館の「ブックトーク」

図書館では、30年以上にわたり、図書館司書が市内全ての小学校や特別支援学校を訪問し「ブックトーク」を実施しています。

◆ブックトークとは

ブックトークは、子ども達にさまざまな本との出会いを届け、読書への興味を育むことを目的とした取り組みです。

学年に応じて選んだ約10冊の本を、読み聞かせやあらすじの紹介、科学あそびなどで紹介します。本は、物語や詩、科学、歴史などの幅広いジャンルから選び、プログラムを組み立てています。

◆高まる読書への意欲

ブックトークを図書館司書が全ての学校で実施する例は全国的にも少なく、その実施時間は年間100時間以上にもなります。

準備には時間と情熱を要しますが、この取り組みに参加した子ども達からは「こんな本があるんだ」

「もっと読んでみたい」といった感想が寄せられ、学校からは「回数を増やしてほしい」「中学校にも来てほしい」「子ども達が普段手に取らない本に興味を持つきっかけとなり、読書への意欲も高まった」と高く評価されています。

図書館では、未来を担う子ども達の豊かな読書環境の実現に向けて、これからも学校と連携し、読書の機会を提供できるようブックトーク活動に注力していきます。

《図書館課》

▶これまでの内容は市ホームページで掲載しています。右コードからアクセス可。



小学校でブックトークをしている様子